特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会　２０２３年度年次大会in 大阪
JASW Social Work Seminar 2023 in OSAKA

未来を描く“ほんまもん”のソーシャルワーク

― おもしろく、本気で考える！ ―

≪開催の趣旨≫
　私たちソーシャルワーカーが理想とする未来とは。
１０年前、２０年前には想像もできなかった社会の中で、ソーシャルワーカーに求められる役割は変化、進化しています。では、ソーシャルワーカー自身は、どのような未来を理想とし、実現に向けて動いているのでしょうか。今回は、１０年後、２０年後の未来を考えます。
　ソーシャルワーカーの実践を踏まえつつ、社会福祉の先がけの地、大阪から「未来」を真剣に語り合いましょう！

【期　日】：２０２３（令和5）年　5月　27日（土）　１３時～１６時３０分

【開催方法】：会場（対面）およびオンライン
会場：大阪保健福祉専門学校　、オンライン：ｚｏｏｍ

【主　催】：特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
【開催協力】：学校法人大阪滋慶学園　大阪保健福祉専門学校、大阪ソーシャルワーカー協会
【後援予定】：日本ソーシャルワーカー連盟
（公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会）
日本保育ソーシャルワーク学会、社会福祉法人全国社会福祉協議会
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
社会福祉法人堺市社会福祉協議会、公益社団法人大阪社会福祉士会
一般社団法人大阪精神保健福祉士協会、公益社団法人大阪介護支援専門員協会
特定非営利活動法人大阪医療ソーシャルワーカー協会、大阪ソーシャルワーカー協会
（依頼予定先：順不同）
【定　員】：会場：１００名、オンライン：２００名（先着順）

【参加費】：①会員参加：２，０００円　②一般参加：３，０００円 ③学生参加：１，０００円
※公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会、大阪ソーシャルワーカー協会のいずれかに所属されている方は①会員と同じ参加費です。
※大阪保健福祉専門学校学生の参加費は無料です。
※お支払方法：（会場）対面参加の方は、当日、会場にてお支払ください
オンライン参加の方は事前にお振込みください

【宿　泊】：参加者各位にてご手配ください。

【申込締切】：２０２３年　5月 20日（必着）

【申込先】：最終ページ掲載のＱＲコードまたは、別添申込書に記載の上、郵送・FAXにてお申込みください。
特定非営利活動日本ソーシャルワーカー協会事務局
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町 3-7 森山ビル西館 401 号室
TEL：03-5913-8871　FAX：03-5913-8872
※妊娠・病気やけが・障がいのため、お手伝いが必要な方は事前に本協会事務局までご連絡ください。

■年次総会　午前１１時～１２時：特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会年次総会（会員のみ）

受付　午後１２時３０分　/　基調講演１３時～１４時　/　分科会　１４時～１６時　/　閉会　午後４時３０分

■基調講演

『地域社会におけるソーシャルワークの展開　－地域共生社会は実現するのか－』

上野谷　加代子氏（同志社大学名誉教授、大阪市ボランティア・市民活動センター所長）

■第１分科会　『子どもの福祉に携わるソーシャルワーカーたちの「想い」と「挑戦」
－“ほっとかれへん”実践のなかで－　』

≪シンポジスト≫
竹下　徹　氏　（周南公立大学）　保育ソーシャルワーク分野
大久保 尚也 氏（本宮市教育委員会）　スクールソーシャルワーカー分野
蛯沢　光　氏（特定非営利活動法人なごやかサポートみらい理事長）　社会的養護分野
≪コーディネーター≫
小口　将典　氏（関西福祉科学大学　准教授）

「少子化」「子どもの貧困」「児童虐待」の問題に加え、保育所・幼稚園（認定こども園）、小中学校の普通学級や特別支援学校、児童福祉施設に「気になる子」や「心配な家庭」などさまざまなキーワードが挙げられるように、子どもたちの「生きづらさ」は一層多様化、複雑化、複合化している。そうした現状から、個々の子どもや子育て家庭、地域社会をも踏まえた実践的なジェネラリスト・ソーシャルワークとしての実践が求められている。
ジェネラリスト・ソーシャルワークとは 1990　年代以降、明示されるようになった統合的ソーシャルワークの体系であり、これまでの専門分野に特化したソーシャルワークではなく、ソーシャルワークの知識・技術・価値を基盤とした、包含した体系的なソーシャルワークである。
ウェルフェアとしての福祉から、ウェルビーイングとしての福祉への転換が求められて久しいが、児童福祉法の「全ての子どもが対象である」とする理念のなかで、子どもの最善の利益への取り組では、それぞれのライフステージのなかで目の前にある問題と向き合い、新しい支援の発見や、制度の狭間の課題に向き合ってきた。シンポジウムでは、子どもの福祉の最前線で活躍するそれぞれのソーシャルワーカーから、どのような実践の中に、どのような想いを込めているのかを存分に語り合うひと時を共有したい。そのなかで、言葉で言い表しがたい「ソーシャルワーク」をソーシャルワーカーの仲間と共に一緒に考え、前に向かって進むための手がかりを見出したい。

■第２分科会　『生活困窮者への自立支援とソーシャルワーカーの役割について』

≪シンポジスト≫
仲野 浩司郎　氏（羽曳野市役所　こどもえがお部　子ども家庭支援課）
星　咲穂 氏（大阪市淀川区保健福祉センター　生活保護ケースワーカー）
伊勢　萌夏 氏（大阪市西成区保健福祉センター　生活保護ケースワーカー）
高石　豪　氏　（日本ソーシャルワーカー協会事務局長）
≪コーディネーター≫
道中　隆　氏（関西国際大学　名誉教授）

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻を端緒に物価高騰、雇用情勢の悪化などから市民生活は一変した。生活困窮者の生活は一層厳しく生きづらくなっている。現下において生活困難者層が大きく裾野を広げている。第一線の福祉事務所、社会福祉協議会などの関係機関は、業務に追われている。生活が苦しくなった生活困窮者への支援は喫緊の政策課題となっている。
ソーシャルワーカーはこうした状況の中、厳しい困難にどのように立ち向かっていくのか、生活不安やさまざまな困難を抱える人たちに寄り添い、支援を行い問題及び解決に導いていくソーシャルワーカーの役割、専門性や、援助を深めるための方策について、現場の実践者の声を聴いて議論したい。

≪オンライン参加の方へ≫

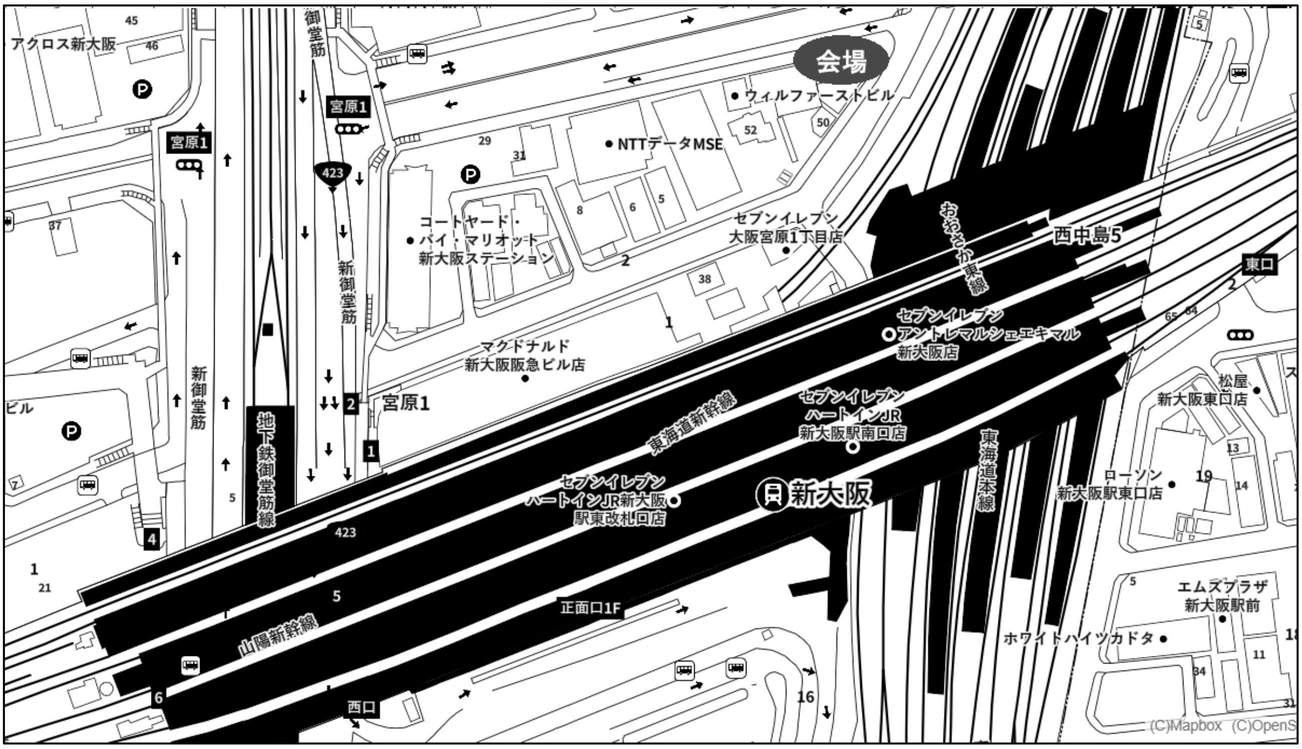
申込確認後、振込先をメールにてご案内いたします。
所定の金額を５月２０日までに下記口座へお振込みください。なお、振込手数料はご負担ください。
ｚｏｏｍのＩＤを開催前日までにメールアドレスへ送信させていただきます。

≪会場参加の方へ≫

申込の上、当日会場へお越しください。参加費は会場にてお支払いください。

会場：大阪保健福祉専門学校　　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原１丁目２-４７

ＪＲ・大阪メトロ御堂筋線　新大阪駅より徒歩５分



詳細なアクセス方法は下記ＱＲコードを読み取ってください。
大阪保健福祉専門学校のサイトにつながります。
新大阪駅東口は最寄りの出口ではありません。ご注意ください。

大阪保健福祉専門学校　アクセス

≪申込≫　１または２の方法によりお申し込みください。

1．下記にご記入の上　郵送またはFAX　03-5913-8872　してください。

≪郵送先≫　特定非営利活動日本ソーシャルワーカー協会事務局
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町 3-7 森山ビル西館 401 号室

参加区分：いずれかに✓を付してください。 ☐会員　☐日本ソーシャルワーカー協会 ☐日本社会福祉士会 ☐日本精神保健福祉士協会 ☐日本医療ソーシャルワーカー協会 ☐大阪ソーシャルワーカー協会 ☐一般 ☐学生 ☐大阪保健福祉専門学校生	お名前 電話番号（当日連絡先）
当日参加方法：いずれかに✓を付してください。 ☐会場参加 ☐オンライン参加	メールアドレス

2．こちらのＱＲコードから必要事項を入力してください。

当日、お会いできることを楽しみにしております！